

令和5年度地域づくり事業実績報告

【令和5年度（2年目）】

団体名	那須こども食堂 ザ・テーブル	代表者	滝谷 昭勝
事業名	那須こども食堂 ザ・テーブル	事業費	3,059,260
		交付金	600,000

（1）地域の現状と課題

核家族、ひとり親家庭の増加、所得格差のほか、地域の遊び場や交流機会の減少等が子どもの成長に大きな影響を与えており、子どもの健全育成や貧困対策の必要がある。

（2）事業目的

子ども食堂を開設することにより、親の貧困の連鎖を断ち切り、一人でも安心して来所し、食事や勉強、遊びの他、家族以外の人たちと交流することにより、自己肯定などの成長及び楽しく過ごせる居場所を提供することを目的とする。

（3）事業概要

- 子ども食堂の開設：毎月4回（第2・第4日曜日及び第2・第4水曜日）開設。イベント等の開催は年5回実施。
- 開設時間：11：00～14：00
- 提供食数：15～20人分
- 料金：子ども100円、同伴者300円
- 対象者：子ども、子どもの親、他誰でも自由に来所できる。
- イベントは利用者のほか、こども食堂を広くPRするため誰でも参加できる。
- 小学生もしくは、それ以下の子ども達には、食事以外の時間では、こども達を対象とした小さなイベントを実施する。また、季節に応じたイベントを実施予定。（バザーやチャリティコンサート、那須中学校の生徒との交流など）



◆事業の成果や効果◆

事業2年目となり試行錯誤の連続ではありますが、こども食堂に訪れる子供たちにも慣れ、性格や状況を少しずつ把握できるようになり、個々に応じた対応ができつつあります。

子供たちもおいしい食事をたっぷり食べるとともに、勉強だけではなく、季節に応じたイベントなどを通して楽しい時間を過ごしているという実感を得ているようで、子供たちは毎回楽しみにこども食堂に来所しているようです。

令和5年度地域づくり事業実績報告

【令和5年度（1年目）】

団体名	那須クラシック音楽祭実行委員会	代表者	矢野 晴子
事業名	第4回那須クラシック音楽祭コンサート&アカデミー	事業費	2,909,002
		交付金	800,000

（１）地域の現状と課題

ロイヤルリゾート那須というブランド価値が徹底されていなく、その価値に見合う芸術文化への取り組みが少ない。また、住民の芸術文化への意識が低く豊かな情操教育による世界的に通用する人材が育っていない。

（２）事業目的

那須クラシック音楽祭の開催で、ロイヤルリゾートとしてのブランディングの確立、及び那須の芸術文化的価値向上を目指す。
また、町内の中学生など子供達がアカデミーに参加することにより地域一体型のコミュニケーションを形成する。

（３）事業概要

国内外の著名な音楽家によるクラシックコンサート（大小ホール、イベントスペース、宿泊施設）等でバラエティに富んだコンサートイベントを開催することで、県内はもとより県外から那須へ人の流れがあることにより関係人口の増加を図る。また子供たちに対して音楽教室の開催やワークショップを行い情操を豊かにする。

4月 実行委員会開催（第4回音楽祭事業計画の策定）WEBサイト作成と更新

5月 実行委員会開催（チラシ、ポスター作成等）アカデミー受講団体募集

6月 実行委員会開催（スタッフ募集、ストリートミュージック会場確保等）

7月 実行委員会開催（協賛広告募集、マスコミ取材依頼、出演者へプログラム提出依頼、自治体広報紙掲載依頼）

8月 実行委員会開催（ストリートミュージック開催、各会場打合せ）

9月 実行委員会開催（ストリートミュージック開催、アカデミー、コンサートの開催）

10月 実行委員会開催（ストリートミュージック開催、アカデミー、コンサート開催）



◆事業の成果や効果◆

第4回那須クラシック音楽祭開催により、多くの方々が、ロイヤルリゾート地・那須を盛り上げていこうとしていることを肌で感じ取ることができたと思います。

中学校を中心の吹奏楽アカデミー&フェスティバルでは、プロの講師の指導により技術面芸術面の向上が見られ、これからを担う若者たちの大いなる刺激となった様子でした。

各施設での協賛コンサートではたくさんの方々が集まり、施設との連携でプラスαで活性化できたのではと思っています。

令和5年度地域づくり事業実績報告

【令和5年度（1年目）】

団体名	黒田原まちづくり推進協議会	代表者	高久 秀将
事業名	黒田原まちなか広場賑わい創出事業	事業費	1,008,601
		交付金	800,000
（１）地域の現状と課題 那須町黒田原地区は、那須町役場やJR東北本線黒田原駅を有する中心地として、駅前通りは商店街として栄えていた。また、町内で唯一の高校（那須）があり文教地区としての役割も持っている。しかし、このような場所でありながら人口減少や高齢化などの問題を抱え、衰退の一途を辿っている。那須高校においても、全国的な少子化の影響から定員割れをおこし、存続の危機に瀕している。			
（２）事業目的 黒田原の魅力を発信することを目的に文化的な取り組みを実施することで、関係・交流人口の増加を図り町内への移住・定住者の増加を図ることを目的とする。			
（３）事業概要 黒田原地域の神輿団体と連携した黒田原夏まつりの開催や黒田原マルシェの実施など、黒田原市街地を中心とした地域のイベントの企画運営を行っていく。イベントを通して地域住民の交流だけでなく、町外に対しても黒田原の歴史や文化を認識してもらい誇りの持てるまちづくりを図る。また、黒田原地域の若者（小学生～高校生）に対して伝統の継承を行い黒田原への郷土愛醸成を育む機会とする。 4月 各関連団体との協議 5月 各関連団体との協議 6月 各関連団体との協議 7月 那須じゃがいも祭り（小中高生参加）、黒田原夏まつりの実施（小中高生参加） 8月 各関連団体との協議 9月 第2回まちなか広場マルシェ開催（地域住民参加） 10月 まちなか広場コンサート 11月 各関連団体との協議 12月 各関連団体との協議 R6.1月～3月 各関連団体との協議			
  			
◆事業の成果や効果◆ ジャガイモ祭りは、地元小学校とタイアップのもとイベントはメディアにも取り上げられ、祭りへの人出も約300名と大きな集客がありました。また、夏まつりは、人出2,000人とイベントにより関係人口、交流人口があったと考えております。 その他複数回のイベントを実施することにより、一年を通して黒田原駅前通りの賑わいを作ることができ、地域住民に影響を与えることが出来たと思います。 今後とも継続することで黒田原の活性化に貢献したいと考えています。			